

「焼岳火山噴火対応訓練」を実施します

～報道関係者も参加できます～

長野県・岐阜県境に位置する北アルプスの焼岳（標高2,455m）は、ひとたび噴火活動が活発化した場合、噴石や火砕流、土石流により焼岳周辺や上高地内の観光客・登山客が被災する危険性があることから、火山噴火に伴い発生する土砂災害に対して緊急対策を迅速かつ効果的に実施し、被害をできるだけ軽減することを目的とした「焼岳火山噴火緊急減災砂防計画」（以下、減災砂防計画という）を作成した。

そこで、松本砂防事務所では、この減災砂防計画に基づき、迅速に対策が実施できるように、長野県側の関係行政機関及び地元関係者等と共同で火山噴火対応訓練を実施します。

1. 訓練日時

平成25年11月29日（金）13時～17時（スケジュールは、別紙 1. 参照）

2. 訓練会場

キッセイ文化ホール 3階 国際会議室（長野県松本市水汲69-2）

3. 訓練参加機関

長野地方气象台、松本砂防事務所、長野県、松本市、上高地町会、上高地観光旅館組合、北アルプス山小屋友交会、上高地消防隊、報道機関

4. 訓練方法

進行役（ファシリテーター）が示す機関の役職・前提条件に関して出された設問に対し、割り振られたグループ内で相談して回答を机上で考え、他の参加者の前で発表・質疑応答を行う「シナリオシミュレーション方式」（詳細は別紙 2. 参照）で実施します。シナリオは訓練参加者には事前に知らされていません。

訓練のグループは本来の所属組織ごとでなく、組織に関係なく混成で行います。

5. 報道関係者の皆様へ

訓練は公開で行います。実際訓練を体験されたい報道関係者の方は、11月27日17時までにご連絡ください。

実際の「シナリオシミュレーション方式」訓練は、14時からとなります。

—配布先—

松本市政記者クラブ
その他 専門紙

お問い合わせ先

北陸地方整備局 松本砂防事務所

電話（0263）33-1115（代表）

（技）副所長 地中 浩（内線 204）

調査課長 石川 一栄（内線 351）

「火山噴火対応訓練」の概要

1. スケジュール

	事項	講師、進行役（ファシリテーター）	所要時間
13:00	開会		
13:05	講義「焼岳火山の火山活動の現状」（仮題）	京都大学 防災研究所 地震防災研究部門 大見准教授	40分
14:00	訓練ガイダンス		10分
14:10	訓練開始	慶應義塾大学 商学部 吉川教授 岩手県立大学 総合政策学部 伊藤准教授	155分
16:45	訓練終了		
16:45	訓練に関する解説・講評	慶應義塾大学 商学部 吉川教授 岩手県立大学 総合政策学部 伊藤准教授 京都大学 防災研究所 地震防災研究部門 大見准教授	15分
17:00 (予定)	閉会		

2. 訓練方式「シナリオシミュレーション」について

消火訓練や避難訓練など、災害現場での行動を再現する実働訓練ではなく、机上で行う訓練です。

訓練参加者（プレイヤー）は、進行役（ファシリテーター）が定めた役割の立場に立ち、提示された具体的な状況と質問に対し、どう対応すべきかディスカッションして回答する方式です。

